

# 長 蓮 寺 報

NO.14 (平成21. 12. 23)

## 今年の漢字

今年もあと少しになりました。師走の声を聞くと、何となく慌ただしい気分になります。その慌ただしさの中でも、毎年 密かに楽しみにしている事があります。

毎年、12月12日に、京都の清水寺の貫首が大きな和紙に揮毫（きごう）される「今年の漢字」です。今年は「新」と言う字が選ばれました。

今年は様々な「新しいこと」に期待し、希望を抱いた1年で、民主党への政権交代で新内閣の発足、政策・行政の刷新。裁判員制度や高速道路料金割引制度など様々な新制度がスタート。また、スポーツではイチロー選手や水泳競技での新記録ラッシュ等々などから、「新」が選ばれた様です。

その中でも特に決め手だったのが、新型インフルエンザの大流行でしょう。ピークは過ぎたようですが、今現在でも猛威をふるっており、特に免疫力が少ない二十歳未満の子供達がかかりやすいようです。マスク・手洗い等で何とか予防したいと思いつつも、我が家の子供達も残念なから先日、感染してしまいました。

感染力が強いためか？親孝行だからか？娘二人ともほぼ同時に発症してくれたので、隔離の心配もなく、小児科への通院も1回で済んだのですが、発症した日がいけませんでした。生憎の休日！どこの医者さんもお休みです。そこで、丸の内救急センターに行く事にしました。すると・・・救急センターの近くは大渋滞。通り沿いには患者を乗せた車の長蛇の列！ 診察は3時間待ちとのことでした。それでも仕方ありませんので待っていると・・・

車の駐車での言い争い（喧嘩）や長時間の待ち時間に疲れ看護士に詰め寄ってる患者さんなど多数見受けられます。「敵は人ではなくウイルス」なのに・・・と私自身も冷静になろうとしていたのですが、救急車の待機場所にまで、停車している車を見ると、どうしても憤りを感じざるをえません。

まだまだ、仏道修行が出来てないぞ！と自分自身を反省しつつ、人の醜さを見せつけられた一日でした。

「人間の病気には、二種類ある。身の病と心の病。身の病は薬で治るが、心の病は治すのが難しい。でも、不治の心の病を治すには仏道修行が一番！」と日蓮様もおっしゃっておられます。

皆さん 家族みんなで、お経・お題目を心の底から唱えましょう！

皆様にとって来る平成22年が幸多き年になりますように。

合 掌

### 平成22年 年忌表

1 周忌	平成21年	1 7 回忌	平成 6年	3 7 回忌	昭和49年
3 回忌	平成20年	2 3 回忌	昭和63年	4 3 回忌	昭和43年
7 回忌	平成16年	2 7 回忌	昭和59年	4 7 回忌	昭和39年
1 3 回忌	平成10年	2 3 回忌	昭和53年	5 0 回忌	昭和36年

# 長蓮寺の基礎知識Q & A



## Q：香典袋について教えてください

近年 不祝儀袋、いわゆる香典袋について（表書き・水引の種類など）多種多様な物が多く、これについてのご質問が多いのでお答えしたいと思います。

まずは、祝儀・不祝儀袋の水引についてお話ししたいと思います。

## 「水引」について

○水引の種類 ご存じですか？水引の大きく分けて3種類あります。

### ・蝶結び

蝶結びは、何度でも解き結びなおす事ができるので、「何度あっても良い」という意味です。仏事や結婚など「何度もあってはダメなこと」には使ってはけません。

慶事一出産祝い・入学祝い・お歳暮・賞品

### ・結び切り

「繰返さない」「一度で終わる」という願いを込めて使用します。

慶事一快気祝い・結婚祝い

仏事一香典・法要 その他一病気見舞い



蝶結び



結び切り



あわじ結び

### ・あわじ結び

「結び切り」の一種で、両端を持って引っ張るとさらに強く結ばれることから「末永くつき合う」という意味で使用します。

慶事・仏事（布施）でもOK！↑の二つとは違い、「何度あっても良いこと」「何度もあってはダメなこと」のどちらにも使用できます。

## ○水引の色

基本的に慶事は紅白、弔事は黒白とされておりますが、近年、弔事でも黒白以外の他の色を使っているものも出回っています。

最近、よく見かけるのが、「黄白」と「双銀」（銀色）の水引です。

特に、年忌法要などには、黒白では強すぎるとして、これらの色を好んで使われる方も多くなりました。

（「黄白」は関西方面から、「双銀」は関東から広まったと言われております）

以上の観点から、通夜や告別式には、「結び切り」の黒白が一般的であり、年忌法要には、黒白 若しくは双銀、黄白の水引でもよいと考えます。

※お寺さまへお渡しする金封につきましても、左記と同様の形・色の水引で良いでしょう。

※但し、例外として仏事でも紅白の水引を使用すべき時があります。

それは、お墓を建てた法要の時と50回忌です。  
こちらは、弔事と言うより、慶事（お祝い）の意味合いが強いためです。



## 「熨斗」について

「のし袋」の「のし（熨斗）」とは、祝儀袋の右上についている折形のことをいいます。

最近では、簡略化され印刷されたものも多く見受けられますが、本来は「のしあわび」（熨斗鮑）といい、あわびを薄く伸ばしたものを包んで、お供え物に添え、神様に供えたのが本来でした。

（アワビは長寿をもたらす食べ物とされ、古来より縁起物とされた為）

と言う事ですので、当然 仏教では肉食を忌むため弔事には用いません。

## 「表書き」について

一般的な仏教の考えでは、「屋の棟を離れず」と昔から言われているように、亡くなられてから49日の間は、あちらの世界においでになる為の過渡期なのです。その間は、まだ仏様の世界に行っておられませんので「仏」ではなく「霊」の状態と言えます。そして49日が過ぎ、初めて仏様の世界においでになるのだそうです。この意味合いから、49日迄は「御霊前」、以後は「御仏前」と書くのが良いでしょう。

通夜・告別式の時	～「香典」または「御霊前」
二七日～六七日法要の時	～「御霊前」
七七日（49日）法要、それ以降の法要に招かれた時	～「御仏前」

※例外 浄土真宗の場合は亡くなられるとすぐに仏様に導かれると考えられているので、「御仏前」と書きます。

また、寺院や僧侶へ納める金封の表書きは、主に「御布施」とします。

※「御布施」は、寺院や僧侶への『報酬』でも『お礼』でもありませんから、表書きに「御経志」、「御経料」、「回向料」等々 といった書き方をすることは、大きな間違いです。

香典はかつて「香奠」と書きました。文字通り、亡くなられた方に「香を供える、捧げる」という意味です。実際的には相互扶助のとしての意味合いが強いですが、「亡くなられた方へお供えする」と言う大原則は忘れないようにしましょう。



## ◎ 寺子屋パソコン教室 新年顔合わせ（平成22年1月9日 13:00～）

先日来より、「パソコンをやってみたいんだけど……  
教えてもらえないか？」

との御依頼が多々あり、昨年末よりパソコン教室を開いております。教室と言っても、堅苦しいテキスト等はありません。昔の寺子屋の様な温かいく楽しい環境でお茶を飲みながらパソコンを扱える様になって頂ければと思っています。

その新年最初の顔合わせを1月9日(土)に開きます。  
興味のある方は、是非ご連絡ください。



## ◎ 節分会（豆まき） 平成22年1月31日（日）午前11時～

明年も節分会（豆まき）をお日待ちに併せて開催致します。大々的に節分を勤修させていただくようになって、来年で6回目になります。徐々に、ご参詣の方も増えてこられ、喜んでおります。来年の節分も是非 みなさま、家族お誘い合わせの上お越し下さいたくさんのご参詣を心待ちにしております。  
尚、お札・御祈願を希望される方は、同封致しました別紙の申込用紙にご記入の上お申し込み下さい。

## ◎ 沖縄 団参旅行について

来年春、沖縄方面へ 戦没者の慰霊を兼ねて  
団体旅行を計画しております。

（2泊3日）

ひめゆりの塔・富山県戦没者慰霊塔の参拝は、  
もちろんの事。他にも、美ら海水族館など  
見どころ一杯です。

詳しくは年明け後 皆様に御案内いたしますので、  
ふるってご参加ください。



## ◎七日会（お経の練習会）のお知らせ

毎月7日午後2時よりお経の練習会をひらいております。  
参加費無料になっておりますので気軽にお越し下さい。